



創樹



題字は 田中蘆雪さん

秋祭り

発行元
 社会福祉法人創樹会
 広島県福山市水呑町187番地
 TEL (084)956-0255
 FAX (084)956-5749

地域貢献活動について

平成二十八年改正社会福祉法において、社会福

祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。その中で創樹会としても検討しているところですが、市内の数法人の呼びかけにより「福山市地域福祉貢献活動協議会」が発足し、当法人も加入しました。同様の協議会は、都道府県レベルでは数ヶ所の先駆的取り組みが有るようですが、市町村レベルではあまり例がなく、他の市町村から注目されているとも聞いています。

市内を七ブロックに分け、それぞれのブロック・福祉の分野別（高齢・障がい・児童）より企画運営委員を選出して、具体的活動内容を検討していくことになりました。私もその一員に選任され第一回目の会議に参加して、改めて視野が狭かったことを考えさせられました。同じブロック内どころかこの水呑地区においても、高齢・児童関係の法人とはほとんどつながりがなかったことを残念に思っています。企画運営委員会・協議会の全体会を通して、水呑地区・中央ブロック・福山市全域、それぞれでできることを考えて行こうと思っています。

さて、創樹会も今年は五十八年目でもうすぐ六十周年を迎えます。創樹会の歴史を振り返ってみると、私としては、「開設以来地域との関わりを大切にしてきたなあ」という思いがします。開設時より家庭的な小舎での暮らしを大切に、施設内学級ではなく地域の学校へ通えるように取り組み、地域のアパートを借りて四〜五人で暮らすホームの開設、重度・最重度の人たちの通所生活介護や相談支援につながる事業などこの地域では比

較的早くから取り組んできたと思っています。創始者田中了諦のこうした思いを、後に続く人たちに語り継いでいくのが私の最後の仕事と認識して、六十周年までは関わらせていただけたとありがたいと思うこの頃です。

今年、自分が暮らす地域で福祉会の役員を受けることとなり、改めて「地域福祉とは？」ということを考えさせられています。福祉の専門家と言われながら、一住民として地域を見まわした時、福祉に関することでも知らないことが多く、愕然としました。先輩方に相談しながら何とか時間を工面して、地域の集いに顔を出し、少しでも地域の中を歩いてみようとしています。まだまだです。

「地域でお互いが助け合いみんなの居場所を作ろう」としても響きの良い言葉ですが、誰がお世話をするのでしょう。いろんな人に声をかけても「仕事があるから、忙しいので」と遠回しに辞退される方が多いのが現実です。（私も少し前まではそうだったのかもしれませんが）

そこで提案です。社会福祉法人の地域貢献の一つとして、こういった場に積極的に参加していく職員を応援するシステムを作れないものでしょうか。定時で終われば夜の会合も参加できます。

たまの日曜日の行事も（職場の行事等と重ならなければ）、優先的に有給休暇を取らせてもらうことで参加可能になるのではないのでしょうか。そういった働く環境作りを法人として応援する体制が取れば、地域のボランティア人材も確保できるのではないかと思います。

施設のある地域だけでなく、職員が暮らしている地域も含めて「誰もが住み良い地域づくりを！」を目標に、社会福祉法人施設の職員が地域で活躍できる体制が整つことを期待しています。

福山六方学園施設長 佐藤秀信

いのちの日

AM : ●いのちの日の集い ●救急救命講習
 PM : ●講義『障がいのある人の権利擁護と差別解消について』
 障害福祉サービス事業所Bee-Works 施設長 森木聡人 氏

午後からは障害福祉サービス事業所Bee-Worksの森木聡人先生をお呼びして、障がいのある人の権利擁護と差別解消についての講義を行なうて頂きました。障がい福祉を取り巻く状況について認識を共有することや障害者虐待防止法の概要と実態について理解すること、障害者差別解消法の概要と合理的配慮について理解すること等を体験も含めた具体的に専門的な

初めに「いのちの日の集い」を利用者とスタッフ一同で行い、花束を捧げ黙祷しました。その後、午前中は福山南消防署の方に来て頂き、救命講習を行いました。人口呼吸法やAEDの使い方、応急処置法等について、実際に救命活動をされたときの経験談も踏まえてお話しをして頂きました。また九月は「救急医療月間」のことで九月十四日に再度救命講習を行い、とても実りある経験をさせて頂きました。

平成十年八月十一日、水遊びの行事の最中に利用者さんが亡くなるという痛ましい事故がありました。この事故を直接知っている職員は数少なくはなっていますが、いつまでも忘れないために、事故が起きた日を「いのちの日」として定め、亡くなった方への「冥福をお祈りすること」にも、救命講習や研修を通じて命の大切さを再認識し、各々の支援を見直し、向上させる口となります。

お話を聞くことが出来ました。利用者に関する状態像の的確な把握や、支援内容の明確化、その確実な実施等、一人ひとりにより着目した個別的な支援の見直しをし、質の高い支援をすることで多くのリスクを未然に回避できるよう考えさせられる貴重な講義だったと思います。福山南消防署の皆様、森木先生、ありがとうございました。



いのちの日の集い 式典にて



退避訓練 人々人



あゆみ苑 退避訓練にて

●あゆみ苑成人寮
 今年度九月から火災報知器が作動すると、自動的に消防局へ通報がされる運動機能が法人本部に追加され、九月二十二日、二十七日にあゆみ苑成人寮と福山六方学園で運動機能追加後初めて夜間退避訓練を実施しました。訓練前に退避マニュアルに沿って変更点の説明を行い、宿直者と現場職員の動きの確認をして、いざ本番。
 始まってみると、マニュアル通りに行かず慌てている様子や、その場に応じた対応を求められる場面があり、口ごもるから災害を想定した動きを意識していくことが大事だと感じました。また、生活をされている利用者さん全員を職員が安全に避難誘導できるように、マニュアルの改善更新を計っていききたいと思います。



宿直者も参加して操作・動作確認

●ONE・すてっぶ
 九月三十日(土)に、ONE・すてっぶで退避訓練を行いました。今回は年度内に二回行う訓練の一回目で、一階のキッチンから出火したという想定での退避訓練でした。利用者さん二十六名を職員九名が一階から階段をおりて中庭へ避難誘導しました。繰り返し訓練をしていること、学校等で定期的に避難訓練を行っていることで、大きな混乱もなく落ち着いて行動することができました。今後もあらゆる事態を想定して訓練を重ね、いざという時に迅速に対応できるように努めていきたいと思います。





職場体験実施 (向丘中学校2年生チャレンジウィーク)

8月21日～25日の期間中、向丘中学校2年生7名の生徒さんがあゆみ苑成人寮(3名)、さわらび(4名)で仕事を体験されました。



あゆみ苑 成人寮

あゆみ苑では、向丘中学校の生徒さん三名をお迎えしました。慣れない環境で大変だったと思いますが皆さん一生懸命この五日間を過ごされていましたね。その期間中に、チャレンジウィークの感想を書き添えて頂きました。

自分は今日までの三日間で、あきらめない事、物事を客観的にとらえる事が大切だと改めて感じる事が出来ました。

あきらめない事の面では、何か自分のしてみたい事(夢等)があった時等、「してみたい」を「should」にして取り組み、何があってもあきらめない事で、夢を叶える可能性がふくらむ事を教わりました。物事を客観的にとらえる面では、自分たちが担当で準備をする際の工夫一つで、次の人が何かをしやすくなり、気分が良い状態を保つ事が可能だという事、相手の事を考える事が大切だ、という事を学びました。



利用者の方々の「できない」を「できる」ようにする「の」も、一つの仕事だと教わりました。自分が志望したわけではないけれど、特に行ってみたいところもなかったもので、「ここに来たのも何かの縁だ」と思って、引き続き頑張ろうと思います。

(久世恰河さん)

五日間という期間の中で学校や日常生活の中では体験できない事をたくさんさせてい頂きました！

障がいのある方のお手伝いはとても大変で工夫をしながらお手伝いをしている事がよく分かりました。

五日間私たちにやさしく接してくださり、ありがとうございました！ これからの生活で今回学んだ事を生かしていきたいと思えます！

(大山あすかさん)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
初日は、あまり慣れていない人達にどのように接したらいいのか分からなくて、緊張していました。でも、二日目、三日目になると段々慣れてきて、利用者さんと話をしたりできるようになって、緊張が解けました。スタッフさんにもどう話せばいいのか分からなかったけど、色々な事を説明してくださって、すごく安心しました。残り二日間も楽しく頑張りたいです！

(新井紗也香さん)

さわらび

今年もチャレンジウィークで、向丘中学校二年生の四名が来てくれました。ミニマジックケアや創作活動、夏祭りなど一緒に活動をしました。五日間という短い期間でしたが、利用者さん方が中学生と楽しそうに活動をされている姿を見て私達スタッフもうれしく思いました。ありがとうございました。

▲さわらびでチャレンジウィーク中の向丘中学校の生徒さん



夏祭り！くぐり

ふじでは暑い夏を皆で楽しもう！という事で、夏祭りを行いました。さわらびの庭をお借りし、まずは皆で花火を楽しみました。

手持ち花火では皆大興奮！へび花火やねずみ花火では「おー」と拍手が起りました。その次は、室内ぞうめん流しを行いました。全て本物の竹を使用し(器も竹です)本格的なぞうめん流しとなりました。普段はあまり食事が進まない利用者さんも沢山食べておられました。

昼食はオードブル、手巻き寿司、サンドイッチを食べ、午後からはAグループBグループに分かれ景品(ミニカップヌードル)を賭けた本気のカラオケバトルを開催しました。普段あまり口にする事のないカップヌードルに利用者さんは大喜びでした。そして最後に、スタッフのプレゼント！UFOを踊り締めくくりました。



利用者さんの笑顔あふれる楽しい夏祭りとなりました。二〇一八年の夏もふじの皆で楽しむぞー！

鞆の津ミュージアム

五月二日に開幕した自主企画展『原子の現場』は、八月二十日をもって閉幕。期間中は、原爆にまつわる表現の展示だけでなく、トークイベントやワークショップ、「爆心地VR体験会」、本展出版者(被爆者)の語りを聴く会など多様なイベントを開催し、様々な世代や立場の方々に数多くご来館いただきました。また、鳥取県「あいサポート・アートインフォーメーションセンター」さんからお声がけ頂き実現した『FUKUKURUKU ARTはじめまし展』が、七月二十一日〜九月十一日にかけて鳥取県で開催。会期前半本展の会場は「くらしアートミュージアム無心」、後半の巡回会場は「Gallery



どや、〇〇じゃろ!展



くらしアートミュージアムにて

そら」という二会場での展示でしたが、どちらの会場も来館者にめぐまれたことと、学園のみなさんの作品にふれて頂けるよい機会となりました。そして、九月三日〜十八日にかけては、広島県知的障害者福祉協会主催の「展覧会 第四回『どや、〇〇じゃろ!』」を開催。今回百点を超える創作が集まったこちらの展示も、作者ご本人や施設関係者をはじめ、旅行者など多くの方々に「鑑賞頂く」ことができました。

鞆の津ミュージアム Facebook
鞆の津ミュージアム+café Facebook

<https://www.facebook.com/tomonotsuseum>
<https://www.facebook.com/tomo.cafe2017/>

福山ロータリークラブ様より、 ご寄贈頂きました

鞆の津ミュージアム

今年度、鞆の津ミュージアムでは、福山ロータリークラブ様より展覧会関係機材一式をご寄贈頂きました。昨年の「ONE-すてっぴ」への遊具寄贈に続き、学園への寄贈は二年連続。このたび頂いた物品は、以下の通り七種類九点です。



ご寄贈頂いた品

- ①一眼レフデジタルカメラ
- ②短焦点レンズ
- ③広角レンズ
- ④カメラ三脚
- ⑤短焦点プロジェクト
- ⑥レーザー水準器
- ⑦メディアプレイヤー三台



鷗風亭での贈呈式にて

この寄贈を受け、九月十一日には、鞆の浦「鷗風亭」で開かれたロータリークラブ例会の贈呈式に参加。ロータリークラブ木村会長より目録を頂き、西山理事長からは感謝状を会長にお渡しした後、林施設長が卓話の中で、これまでの学園の創作活動についてロータリークラブの皆さまに紹介しました。鞆の津ミュージアムでは、展覧会の制作・運営や作品の管理・保存をしていくうえでデジタルカメラや各種レンズが特に必要でしたので、他の機材とあわせ、すでにありがたく使わせて頂いているカメラです。

求 人 活 動 に つ い て

『イメージカラーは樹の文字からグリーンかな?』『利用者さんの描いた絵をどこかに入れたい』『という事務局スタッフの熱い思いが積み重なり、ハンドメイドで創りあげたブーススタイルなのです。業者にお願ひすれば洗練されたスタイリッシュな装飾を即納入してくれるこの世ですが、あれこれとアイデアを出し合いコツコツ創るという地道な作業の集大成。事務局職員にとっては、得意とするところ



です。もし、誰かの会場でこのブースを見かけられたら『創樹会ってどんなところ?』という方もお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



職場説明会



これは、職場説明会に参加する本会のブース写真です。『創樹会を知ってもらうにはどうしたらいいだろう?』そんなところからこのブース作りはスタートしました。

インターンシップ

今年度「法人のことを知ってもらい、福祉の仕事を知ってもらいたい」ということからインターンシップの受け入れを行いました。

八月二十一日から五日間で実施し、一名の学生の方にご参加いただきました。今年度はもう一度インターンシップの受け入れを行う予定にしております。これをきっかけに法人のことや、福祉の仕事のことなどを知っていただければと思います。日程等決まりましたら、随時お知らせしていきますので、よろしくお願ひ致します。



初めてインターンシップを受け入れて

福山六方学園で体験され、実際に現場に入られた時は緊張されている様子で子ども達との関わり方にも不安があるようでしたが、子ども達の笑顔と可愛らしい姿に触れるうちに少しずつ緊張もほぐれ笑顔も見られました。受け入れるこちらも初めての事だったので戸惑いもあり上手く対応が出来たとは言えませんが、この機会に職員同士でインターンシップに来て下さる方に対する取り組み方を考えたいと思います。

ざくろ 事業所内研修会

七月十四日(金)十七時から、さくらにて事業所内研修会を行いました。

講師として、社会福祉法人まどか すみれ工房 管理者 高橋恒二郎氏にお越しいただき、「心や発達に障がいのある方の支援について」わかり易く講義していただきました。

具体的な支援のコツとして「主語を確認しながら、相手の気持ちを受け止め・共感する姿勢」が大切であること。また「事業所間で連携をすること」で、思わぬ発想や発見の可能性があることも改めて教えていただきました。

法人内各事業所から約二十名のスタッフが参加し、あつという間の二時間でしたが、貴重なお話をお聞きすることが出来ました。

私たちは様々な障がいのある方の支援方法を日々学習しなければなりません。発達や精神に障がいのある方に対する支援についても、繰り返し思考し実践をしていきます。

さくらでは、これからも様々なテーマを題材とした研修会を企画し、スタッフの自己研鑽に努めていきます。

親善スポーツ 大会について

九月十七日(日)広島県東部地区親善スポーツ大会の開催を予定していましたが、非常に勢力の強い台風十八号の接近に伴い、止むを得ず中止となりました。

今年度は、当法人が大会本部事務局を務めさせておりましたが、中止ということで大変残念な結果となりました。

本大会は開催することは出来ませんでした。昨年度から準備をお手伝い下さいました関係事業所のご担当者並びに関係機関の皆様へは、心から感謝申し上げます。

この度の改善点や反省点は、次年度の事務局へお伝えしていきたいと思ひます。

今後もスポーツ大会に参加される利用者の皆様、心から楽しんでいただける大会の開催に向けて力を注いで参りたいと思ひます。



Summer Memories

楽しい夏の思い出をいっぱい集めました！



→ 福山六方学園夏祭りにて ←

夏祭り

福山六方学園

八月二十一日に福山六方学園の夏祭りを開催しました。夏休み的一大イベントとしてゲームコーナーや模擬店が用意されました。ゲームコーナーでは水鉄砲の射的とお菓子釣りをしました。お菓子釣りでは、皆さんのお菓子をゲットするぞという真剣な眼差しが印象的でした。模擬店はフランクフルトやたこ焼き、かき氷などがあり、各々食券でお買い物をして食べました。ステージでは利用者さんによる歌とダンスや、利用者さんとスタッフによるデュエットなどが披露され、発表

された方も見ていた皆も楽しみました。最後はスイカ割りをして皆で美味しくいただきました。
利用者・スタッフ共に夏を感じることができ、お腹いっぱい、笑顔いっぱいの夏祭りとなりました。

あゆみ苑成人寮

あゆみ苑恒例行事である夏祭りが八月二日に行われました。会議の段階から、今年の食べ物は何にしようか。ゲームはどのようにしようかなど、自治会スタッフでとても盛り上がりました。今年の模擬店のメニューはスタミナ丼や焼き鳥、フライドポテトなど夏祭りならではの食べ物が多い、夏のひとときを噛みしめました。そして今では恒例である林施設長考案のシナリオの催し物に、利用者もスタッフも参加、利用者やスタッフが参加し「皆で笑い転げよう」を目標に精一杯準備し、当日は沢山の笑顔と笑い声に包まれました。今年も思い出に残る夏祭りになりました。



↑ あゆみ苑夏祭りにて

バーベキュー

さわらび

七月二十一日に、さわらび・きらりの夏の風物詩と言っても良いバーベキューを行いました。今年は新しくなった建物「さわらび」で、初めてのバーベキューでしたが、利用者さん一人ひとりが楽しい時間を過ごすことができました。「お肉うまい、野菜も甘い」と黙々と口いっぱい頬張ったり、食事をしながらの話も弾み、笑顔溢れる時間を過ごすことができました。ご家族の方もお忙しい中、参加して下さい、ありがとうございました。



宿泊体験

さわらび

例年ふれあいランドで宿泊体験を行っていましたが、今年は新しくなったさわらびで、九月二十五日から二日間、実施しました。今回は、初



めて参加される方が多く、利用者さんも職員も嬉しさと、緊張の中スタートしました。夕食はカレーとラーメンの選択で、サラダと果物も付けて皆さん美味しくそつに食べられました。夜は不安な様子を見せる方がいらつしやいましたが、無事に朝を迎えました。家に帰る時の安心した表情はとても印象的で、家族の大切さを改めて感じました。

そうめん流し

サポートセンター友の家

サポートセンター友の家では毎年恒例のそうめん流しを七月に行いました。真夏の暑い日でしたが、水分補給をしながら、そうめんを流す竹や手作りの竹の箸を準備しました。また、室内ではそうめんを茹でたり薄焼き卵やおにぎり等の準備を行いました。



そうめん流しがスタートすると「あっ取れん！」「トマトは取るの難しいわぁ」「下の方は全然来んど〜」と、にぎやかな声が聞こえてきました。そうめんを流すスタッフはみなさんの食べるスピードに追い付くのに必死でした。片付けも協力し合い、夏のいい思い出になりました。



新人スタッフ紹介



友の家 平川 実穂

今年の7月からサポートセンター友の家で勤務しています。グループホームでの仕事は初めてなので、みなさんを参考に日々頑張っています。よろしくお願いします。



さくら 村上 千恵

7月からさくらでお世話になっている村上です。まだ分からない事の方が多いですが、利用者さんがさりげなく教えてくれます。最近1日にあった良い事を書く日記を付けています。



友の家 黒木 小夜子

サポートセンター友の家に勤めて半年になりますが、利用者みなさんと色々な所で色々な方とお話ししたいです。



ONE-すてっぴ 中村 美紀

7月からONE-すてっぴで勤務させていただいています。子ども達のパワーに圧倒されながら、日々楽しく過ごさせてもらっています。分からない事もたくさんありますが、子ども達と共に成長していけたらと思っています。



スタッフのつぶやきリレー tuburoku-box。仕事のこと、プライベートetc. . . boxをあけてみましょう！

あゆみ苑男子棟所属の、山下和朗といいます。あゆみ苑に就職して、7年が経ちました。今回の創樹発行にも携わらせて頂いています。

アパートで独り暮らしをしており、家に帰ると掃除をやったり料理をしたりと、単調ですが大変な日々を過ごしています。よく同僚にはドジな面をからかわれ、時には失敗して叱られる日々です。そんな私ですが、ここ最近の趣味は山登りをする事です。中国地方やアルプス山系の山に登ったりしています。去年は4日ほど使い、槍ヶ岳という山に登ってきました。テントを使った長期の登山ということで、荷物がテントを含め大変大きくなり、そんなバックパックを背負っての登山となりました。1日10時間以上、大きな荷物を背負っての登山となり、途中転倒して怪我をしたこともあり、2日目にはもう帰ろうかと思いましたが、それでも何とか耐え、最終日には目標の槍ヶ岳山頂に到達でき、感無量でした。

一生懸命努力して得た結果というのは、何事にも代えがたいものがあると、こうしたときに実感できます。仕事でも、努力した先にきっと何かがあると信じて、これからも頑張っていきたいと思えます。

あゆみ苑成人寮男子棟 山下和朗



ありがとうございました (2017.7.1~2017.9.30)

- *お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)
- *保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ・福山ロータリークラブ
- ・関係者 2名
- ・茶道裏千家淡交会福山支部
- ・青山登世子

実習生・交流

| | | | | |
|-----|-----|------------|----------|----|
| 実習生 | 保育士 | 2月15日~10日間 | 中国学園大学 | 3名 |
| | | 7月18日~12日間 | 広島福祉専門学校 | 2名 |
| | | 8月 2日~12日間 | 安田女子短期大学 | 3名 |
| | | 8月16日~10日間 | 岡山短期大学 | 2名 |
| | | 8月17日~12日間 | 安田女子短期大学 | 2名 |
| | | 9月 4日~10日間 | 広島文教女子大学 | 2名 |
| | | 9月 9日~10日間 | 福山平成大学 | 2名 |
| | | 9月21日~10日間 | 福山平成大学 | 3名 |

今後の予定

全体

11月23日...勤労感謝の集い

福山六方学園

10月...ハロウィンパーティー 11月...入学式

12月...参観日(沼隈特別支援学校)

あゆみ苑成人寮

11月14日~...陽と風と展

11月21日、22日...ふれあい福祉祭り(喫茶出展)

11月19日...なの花バザー(喫茶、作品出展)

12月...あゆみ苑クリスマス会 12月10日...一日強歩

さわらび

11月...日帰り旅行(オプション) 宿泊旅行(オプション)

12月...クリスマス会(家族行事)

サポートセンター友の家

11月...GH交流会 勤労感謝の集い ふうりんの集い

12月...GH交流会 ふうりんの集い

ぶち ええわ!

～カープと福山六方学園～

広島東洋カープが創設されて9年後、1959(昭和34)年10月1日に県下2番目の知的障害福祉施設として福山六方学園が開設されました。当初は、児童10数名・職員7名だったそうです。

カープが日本シリーズ2連覇した1980(昭和55)年に福山六方学園は開園20周年記念式典を挙げ、あゆみ苑成人寮を開設しました。

※1991(平成3)年に社会福祉法人創樹会を設立、そしてカープは37年ぶりのリーグ2連覇!

2017(平成29)年、数年前から本部・水呑・卸町ブロックに拠点を設け、子どもたちから成人の方、就労の場や創作活動の場でたくさんの利用者(児)さんが活動されています。各事業所でもカープの会話は自然と弾みます♪昔から変わらないカープ帽子に、カープTシャツ♪でズムスタに観戦してきたよ～と話してくれる利用者の方も多いです。

これからもカープが連覇を続け、2019年リーグV10へ!

開設時からの園訓「素直で 明るく 遅しく」につなげ、創設50周年には「キラリ!みんなダイヤモンド」の気風づくりを目指してきました。2年後、当法人は創設60周年を迎えます。

これからも初心を忘れず、新しい事にチャレンジしながら利用者さんと共に一歩一歩あゆんでいきますのでご支援・ご協力よろしく申し上げます。

～60周年(還暦)には赤ヘル! V10お祝いしたいですね～

今号は番外編!

カープ優勝おめでとう!

カープを応援している人たちや、カープと福山六方学園の歴史についてまとめてみました!



番外編

●ONE-すてっぷの子ども達

ONE-すてっぷの子ども達は身体を動かすことが大好きです。学校休業日の活動で、バットとボールを持って公園に行くと、野球好きな子が集まり試合開始です。特大ホームランを打つとみんなの盛り上がりもMAXになります。

また室内での活動に、カープのCCダンスを取り入れています。聴き馴染みのある曲が流れ始めると、子どもたちは掛け声に合わせて元気よく『C・A・R・P』のポーズを身体全体を使って表現し、『Let's win!』のポーズをピシッとカッコ良く決めます。今後はCCダンスの他にも様々なダンスをみんなで見学して楽しみましょうね!!



●さわらび 高蓋さん

さわらび・きらりでは8月22日に夏祭りをしました。「ドーン」という大きな太鼓の合図でお祭りスタート!!

ボウリング、ストラックアウトなどのゲームコーナーやフランクフルト、アイスクリームなどの出店があり皆さん思い思いに回って、楽しまれていました。ボウリングの景品でカープのカンファバットをゲットしたカープ大ファンの高蓋さん!!

利用者の皆さん、スタッフ共に楽しい夏の思い出となりました。



●あゆみ苑成人寮 冠さん

日頃からテレビやラジオでカープ中継を聞き大ファンの冠通広さん。福山市民球場にカープが来たときも、スタッフと一緒に応援に行きました!そのときに買ったカープのTシャツや、カープの帽子、メガホンを、今も大切に保管されています。全盲の方ですが、ホールにいるときも「カープの中継はないんかー?」「今日は勝ったんかー?」「また福山に来んのんかー?」等と興味深々で聞かれています。

リーグ優勝を決め、破竹の勢いのカープ!冠さんも応援しています!

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp> ☎ fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)

あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(就労移行支援事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)

サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)

サポートセンター友の家(共同生活援助事業)

さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)

ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)

ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)

相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

日毎に秋も深まり、スポーツの秋や食欲の秋など、どのような秋をお過ごしでしょうか。みなさまにとって実りの多い季節となりますように。

(編集スタッフ一同)